

## 英語教育フォーラムー小・中・高等学校の英語教育と第二言語習得研究の関連ー

宮城教育大学附属・小学校英語教育研究センターでは、平成24年12月8日(土)「小・中・高等学校の英語教育と第二言語習得研究の関連」とのタイトルで英語教育フォーラムを開催しました。午後の第一部では、まず、白井恭弘氏(米ピッツバーグ大学教授)、岩中貴裕氏(香川大学大学准教授)、名部井敏代氏(関西大学准教授)、森博英氏(日本大学准教授)から、英語習得におけるインプット、アウトプット、フィードバックの役割を分かりやすく説明していただきました。その後、司会の鈴木を加え、会場の質問に答える形を取りながら、有意義な意見交換を行うことができました。第二部では、根本アリソン氏(本学特任准教授)により、「学習者中心の指導法ーアクティビティを体験してみようー」と題してワークショップが行われました。まず、根本氏によるレッスンが行われ、知らない言語を学ぶ学習者の気持ちを体験して頂きました。更に、参加者同士でグループディスカッションを行い、小学校外国語活動や、今後の授業の在り方について考えを深めました。約150名の参加者を迎え、今後の小学校外国語活動は勿論、及び小・中・高等学校全体を見通した英語教育への関心と期待の高さを示すものであったと思います。参加者からは、「現場で生かせるような具体的な提案があり、ためになった。」「指導方法、英語教育に関してとても考えさせられる貴重な時間だった。」「体験的に大切なことを理解できた。」等々たくさんの意見や要望が寄せられました。

次ページから、第一部の発表資料を掲載しております。ぜひご覧ください。